

大項目	1	[生活環境]安全で快適な古河をつくる
質問事項	(1)人と自然にやさしい都市づくりのための地球温暖化の防止 ① 太陽光発電は地球環境にやさしいと思うが森林伐採してまで設置する必要があるのでしょうか？ ②古河市のSDGsの取り組みについてどのように考えているのでしょうか？	

答弁内容 I	江原 優子 議員の大項目1[生活環境]安全で快適な古河をつくるについてのご質問にお答えします。 (1)森林伐採をしてまで太陽光発電設備設置の必要性については、現在、古河市では「古河市内における太陽光発電設備設置に関する条例」に基づき、設備の設置に当たっては、関係法令はもとより地域住民への十分な説明による地域との調和に配慮するよう事業者に求めているところでございます。 また、太陽光発電設備に関する技術基準については、電気設備に関する技術基準にて規定されております。 国は、地球規模での環境保全について積極的に取り組み、2050年までに「二酸化炭素排出量の実質ゼロ」を目指しており、古河市も昨年7月28日に、北茨城市長を会長とする「廃棄物と環境を考える協議会」の構成団体として、ゼロカーボンシティ宣言を行いました。再生可能エネルギーの1つである太陽光発電施設の設置は、二酸化炭素の排出削減に大きく貢献できる方策であります。一方、二酸化炭素を吸収し酸素を発生する森林の持つ機能を 最大限活用していくことも重要であると考えております。 古河市内の森林については、ほとんどが民有林であり、伐採の規制は、森林法により1haを超える開発の場合には林地開発許可制度による県知事の許可が必要ですが、1ha以下の伐採の場合には、市に届出をすることにより伐採が出来るとなっております。 市としては、より環境への負荷が少ない再生可能エネルギーの普及拡大の推進を検討してまいりたいと考えております。	
--------	---	--

【取組状況 I】

古河市における太陽光発電施設の状況は、国が公表している固定価格買取制度による認定情報(出力20kw以上、令和3年10月末現在)によると、市内全体で969箇所が認定されております。 そのうち設置済が630箇所であり、今後新たに339箇所が設置となる見込みであります。 市内における太陽光発電施設の設置工事に伴い、山林伐採が行われていることは認識しておりますが、設置自体は民間の事業活動であります。 また、地球温暖化防止対策の取り組みとして、国は二酸化炭素等の温室効果ガスの排出削減に繋がる再生可能エネルギーの積極的な導入を示しており、市としては国の施策等を注視し対応してまいります
--

答弁内容 II	市政運営の中で、よりSDGsを意識し始めたのは、令和元年度から。SDGsに対する基本的な理解を深めるため、市職員を対象に講演会形式の研修を実施。市の政策とSDGsの17の目標との関連付けを行った。また、職員の名札にSDGsのシンボルマークを表示、内外へのPRにも努めた。 今年度9月18日に「古河市SDGs推進宣言」、12月には市長・副市長・教育長並びに市議会議員、部課長職員にSDGsのシンボルバッジを配布、着用を通じ内外に古河市の取組をPRした。3月には、若手職員を対象にカードゲームを使用した参加型の研修会を予定している。講師の話を聴くだけでなく、カードを使った、より実践的にSDGsの考え方を学ぶことが出来るように企画した。 この他、SDGsに積極的に取り組んでいる独立行政法人国際協力機構JICAや姉妹都市の福井県大野市に対し、相互協力による有益な推進体制を構築すべく連携協議を進めている。市民へのPRの一環として、古河ケーブルテレビでSDGsの17の目標を1つずつ紹介するコーナーを、1月末から開始した。 来年度については、職員研修や市民へのPR活動、カードゲームを使った体験型の研修を含みますが、積極的に行いたいと考えている。さらに、市内でSDGsに積極的に取り組む民間企業や市民団体等との新たなネットワークづくりにも取り組んでいきたい。	
---------	---	--

【取組状況 II】

本市のSDGs推進における取り組みについて報告いたします。 「SDGs de地方創生カードゲーム」研修を、令和3年3月に市役所若手職員を対象に、また同年5月に市内青少年を対象に古河ロータリークラブと共催で実施しました。これはSDGsに取組みながら地方創生をしていくという体験型の研修であり、SDGsについて分かりやすく学ぶことができた大変好評な研修となりました。 7月には、JICA筑波と本市において「SDGs推進に関する連携覚書」を締結しました。JICA筑波が自治体と連携するのは、県内では本市が初となります。 11月には市職員を対象としたSDGs職員セミナーを開催、「SDGsと自分の業務のつながり」をテーマとしたグループワーク研修を実施しました。研修準備にはJICA筑波の協力をいただき、また当日はオブザーバーとして参加していただきました。 さらにSDGsの17の目標について、古河ケーブルテレビで放映した身近な取り組みを紹介する番組の内容を、古河広報YouTubeにおいて配信しております。 その他12月に、市内で積極的にSDGsに取り組む民間企業や市民団体等との間の新たなネットワークづくりとして、「SDGsパートナー制度」を創設いたしました。この制度は、市内の各団体のSDGs目標達成に向けた自主的な取組に対して支援を行うことで、市内におけるSDGs推進の裾野拡大と取り組みの活性化につなげ、市の持続可能な発展を図ることを目的としているものです。現在は 1団体という状況ですが、この2月には商工会や商工会議所並びに工業会に向けて、パートナー制度のPRを行いました。今後もパートナーの増加を目指し、SDGsを推進してまいります。
--